

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	国立大学法人 東北大学		
事業所の名称	星陵団地		
事業所の所在地	宮城県仙台市青葉区星陵町1番1号		
主たる事業	学校教育		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>本学では環境活動の推進にあたり、具体的な施策を実行していくため環境目標及び環境活動計画を3年毎に策定しています。例年、「二酸化炭素排出量の削減」、「エネルギーの使用量の削減」、「上水使用量の削減」、「紙類の使用量の削減」を毎年の重点目標としており、これらの削減に対しては達成すべき一定の数値目標を設定しています。このうち「二酸化炭素排出量の削減」については、「東北大学における温室効果ガス排出削減等のための実施計画」(平成20年6月策定)に基づき、原単位で毎年度2%削減との数値目標を設定しています。</p>		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	46,385 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	0.01708
		目標年度	2022 年度	目標排出量	43,658 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位
			削減率	5.87 %	削減率	5.88 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	46,794 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.01745
			削減率	-0.89 %	削減率	-2.17 %
	排出量等の増減理由	<p>星陵団地には大学病院があり、患者に質の高い医療サービスを提供するとともに新型コロナウイルス感染症により重症化した患者を救命する役割を担っている。猛暑・厳冬による空調負荷の増加に加え、特に、新型コロナウイルス感染症のリスク軽減の対策としての空調運転時における窓開け換気等の徹底、時差出勤や就業場所の分散等、削減計画書策定時に想定していなかった事態によりエネルギー使用量が増加したため、排出量はやむを得ず増加となった。</p>				
	第2年度	2021 年度	排出量	45,806 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.0171
			削減率	1.24 %	削減率	-0.12 %
	排出量等の増減理由	<p>星陵団地には大学病院があり、患者に質の高い医療サービスを提供するとともに新型コロナウイルス感染症により重症化した患者を救命する役割を担っている。新型コロナウイルス感染症のリスク軽減の対策としての時差出勤や就業場所の分散等の見直し等によりエネルギー使用量・排出量共に減少となった。</p>				
	第3年度	2022 年度	排出量	47,146 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.01753
			削減率	-1.65 %	削減率	-2.64 %
排出量等の増減理由	<p>パワーセンターから大学病院等へボイラーで発生させた蒸気を供給しているが、2022年7月～12月に還水の水質が悪化したことにより補給水加熱用の都市ガス使用量が増加したため、エネルギー使用量・排出量共に増加した。また、2022年8月に実験施設の改修工事が完了し、11月から本格稼働したことによりエネルギー使用量が急増したため、排出量が増加となった。実験施設は延床面積あたりのエネルギー使用量が大きい建物であるため、延床面積等を考慮した原単位においても増加となった。</p>					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	100 %	目標年度	100 %	
	第1年度	100 %	実施状況の説明等	非該当の項目以外は全て実施済である。	
	第2年度	100 %	実施状況の説明等	非該当の項目以外は全て実施済である。	
	第3年度	100 %	実施状況の説明等	非該当の項目以外は全て実施済である。	
選択対策の実施状況	項目				実施状況
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)				実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)				実施済
	ボイラーの運転効率管理				実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理				実施済
	デマンド管理				実施済
	蒸気トラップの管理				実施済
	外気冷房				実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理				実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理				実施済
	ポンプ、給水系統の保安全管理				実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保安全管理				実施済
	変圧器の負荷率管理				実施済
	再生可能エネルギーの導入				実施済

	項目	具体的な取組内容	実施状況
その他の対策の実施状況	環境マネジメントシステムの導入	環境負荷の低減や持続可能な社会の構築を目指し、環境目標及び環境活動計画実現のため、本学独自の環境マネジメントシステムを導入し、大学全体でエネルギー使用の合理化に関して取り組んでいる。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	「廃棄物排出量の削減とリサイクルの推進」を環境目標の1つとして掲げ、省資源・廃棄物削減に取り組んでいるほか、「プラスチック・スマートの推進を宣言し、プラスチック使用の削減や分別回収の徹底を進めている。	実施済
	グリーン調達の実施	「本学が定めた「環境物品等の調達の推進を図るための方針」にもとづき、「グリーン購入率」100%の推進」を環境目標の1つとして掲げ、グリーン購入の推進に取り組んでいる。	実施済
	計画期間以前の温室効果ガス的大幅な削減	建物新設・改修にて、省エネタイプの機器導入や断熱材・複層ガラスを使用する等考慮しながら設計・施工を実施している。	実施済
	排出係数の小さい電気事業者の選択	入札にて電気事業者を選定しており、環境に配慮した契約を行っている。	実施済
	環境教育・学習の実施(従業員以外を対象にしたもの)	環境マインドを備えた人材の育成として、環境関連の教育、環境科学研究科の設置、国際的教育プログラムの実施など。	実施済
	森林の保全・緑化の推進	国指定天然記念物「青葉山」における、可能な限り自然状態を保ち、人為的な作用を最小限にすることを基本方針とした維持管理。	実施済
	市が実施する環境関連事業への参画	多くの本学関係者が環境関連の行政機関委員会や主催企画団体及び委員会へ参画している。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	上水使用量削減に向けた節水型装置、器具の導入や雨水利用の促進を行っている。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	環境報告書の作成・公表、ならびに、気候変動への取組(TCFDへの対応)に関する情報開示について	実施済